

## てらこし和洋の一般質問 (平成30年12月13日)

### Q1 北陸鉄道石川線の行政支援は。

**質問** 北陸鉄道石川線は、平成27年3月の陽羽里駅の開設と白山市・金沢市・野々市市・内灘町と国土交通省・石川県・北陸鉄道で構成する鉄道石川線・浅野川線任意協議会の利用促進策も相まって、乗降人数は順調に伸びてきています。協議会の状況と、国土交通省の車両購入費の補助制度創設から車両の老朽化により更新が必要では。

**答え** 協議会で、鉄道線の設備投資に財政支援を行っている。2021年度年以降について、鉄道の維持・存続のため、引き続き財政支援の要望があり、協議をしている。車両の更新は、支援要請されたところで、協議会で協議を行う予定であり、応分の負担を考えている。

### Q2 白山市の情報化推進は。

**質問** 近年の情報通信技術の発展により、ICTなどを使った行政サービスの充実が必要であり、国は、2017年に官民データ活用推進基本計画、2018年にはデジタル・ガバメント実行計画など策定し、各自治体は、住民ニーズの多様化による事務量の増加からコンピューター化による業務の改善に取り組んでいますが、今後の具体策は。

**答え** 国が進める官民データ活用推進計画とデジタル実行計画を、今後の行政サービスのあり方として捉え、関係法令の改正等や国の具体的な施策を注視して行く。IoT化は、生産性の向上や働き方改革にもつながるので、業務の効率化のため、AIやRPA・ソフトウェア型ロボットという技術を活用し、給与システムなどの業務の自動化を予定。そして、今後の業務の改善策等は、庁内で連絡会を設定し行っていく。

### ●総務企画委員会での寺越の要望と意見 (平成31年3月14日)

1. 北陸鉄道石川線の陽羽里駅と曾谷駅の駐輪場に屋根の設置を。
2. 遠距離の投票場の投票時間を繰り上げ、開票時間を9時10分から9時に繰り上げることが出来ないか。

### 白山市議会議員

てらこし かずひろ  
**寺越 和洋**  
後援会事務所

〒920-2146  
白山市日向町和110番地  
TEL・FAX 076-272-2789

- E-mail terakos@asagaotv.ne.jp
- メールアドレス terakoshikazu@docomo.ne.jp
- メールアドレス terakoshikazu@gmail.com
- 携帯電話 090-7088-0000

### Q3 旧自治体の各美術協会の統一を。

**質問** 美術協会は各地域において活動していますが、合併することで新たな交流が生まれ、技術力が切磋琢磨され、新しい感性での作品づくりが進むと思われませんが、行政の主導で統一化をすべきでは。

**答え** 各美術協会の統一は、会員自らが統一に向け協議することが先決であり行政主導ではなく、会員の機運が高まった折には協働して行く。

### Q4 神子清水町の薬草の商品化を。

**質問** 世界に白山市をアピールするため、神と名のつく神子清水町で栽培されている薬草の商品化に、市のバックアップを御期待する。

**答え** 神子清水町の約2haの薬草農園では、トウキとジオウの薬草2種類を中心に栽培しており、地元住民と金沢大学や県立大学の学生とともに収穫作業をし、県外漢方薬メーカーへ出荷することとしている。特産品となるよう、栽培技術の確立・生産拡大の支援等、市内の道の駅や観光施設での販路の拡大など、支援する。

### Q5 若者の海外への派遣事業の創設は。

**質問** 2030年目標のSDGsや世界ジオパークへの取り組み等、世界に向けた施策が多くなる中、国際的に活動できる人材の育成も必要であるが将来のため、大学生からの青年層に対し、海外研修等の補助の創設が必要。

**答え** 市は海外との姉妹都市提携を行っており、中高校生のホームステイ交流を行っている。海外体験は、後々の進路に影響を与えるほか、地域への愛着の醸成にも貢献していて、海外の経験や知識を地域に還元していただくことは、有意義であります。国・県でも各種の制度があるが、市とすれば、海外の地域を限定し、国際化に向けた青少年が育っていく事が大事である。そして、市国際交流協会の親善友好都市との市民交流の促進の助成制度を活用して頂きたい。

てらこし和洋のプロフィール	
昭和33年3月4日生まれ	
昭和48年3月	白山市立鶴来中学校卒業
昭和51年3月	県立金沢錦丘高等学校卒業
昭和55年3月	神奈川大学経済学科卒業
平成7年4月～	旧鶴来町議会議員
平成17年3月～	白山市議会議員
平成19年3月～20年3月	白山野々市広域事務組合議会議員
平成23年3月～24年3月	白山市議会副議長(第7代)
平成25年3月～26年3月	白山石川医療企業団議会議員
平成26年3月～27年3月	白山市議会議長(第10代)
平成27年3月～29年2月	予算常任委員会委員長(初代)
平成29年2月	白山市議会議員当選(通算7期目)

- 現在の役職**
- 議会での役職/学校と地域のかかわりに関する特別委員会委員長
  - 議会での所属/総務企画常任委員会委員、白山野々市市北広域事務組合議会議員、会派創設会代表
  - その他の役職/白山市サッカー協会会長、白山市相撲連盟会長、石川県フィンランド友好協会副会長、石川県サッカー振興議員連盟会員、白山市自衛隊募集相談員、クレイグラウンドゴルフクラブ会長、神奈川大学官校会石川県支部常任幹事、錦丘高校同窓会代表幹事、元秋田犬保存会石川県支部展覧会名誉会長

## 白山市議会議員



# てらこし和洋

## 白山市議会通信

2019年 初夏号

夏の装いが感じられる今日この頃、貴台始めご家族の皆様方におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

日本人の文化の象徴であります年号も「平成」から「令和」に改元され少しずつではありますが、私たちの生活にも馴染んでいるように感じます。

私の思いであります、個人的に感謝すべき事として、2014年に白山市議長として、全国議長会で平成天皇に皇居内の豊明殿にて拝謁したことであります。今でも天皇陛下の住民自治に尽力されんことのご期待のお言葉を、胸に刻んでいところであります。全国市議会議長会では、天皇陛下からのお言葉を賜った最後の年でありました。

平成天皇からのお言葉が、今でも私の市会議員としての永年の責任であると思っております。

今、白山市議会では、議会の在り方について、市内28地区を廻り、若者から熟年層の方々との意見交換を行っております。それぞれの地域で耳にすることは、議会に対する注目度が薄いことであり、議員との懇談を希望していることで、改めて議員が地域に出向き意見交換するの必要を感じました。

また、各地域での意見交換を通じて、二元代表制の

在り方を感じ入りました、個人的に白山市のような議員が20人位の議会では政党色が無い事が市執行部と議会との切磋琢磨する地方自治体に成るのではないのでしょうか。各議員の意見を是々非々ととらえ、議会の考えを一つにまとめることが、小さな議会の仕事であると考えます。

さて、白山市は、市政15年に入りました、第二次白山市総合計画が3年目に入中、SDGs(持続可能な社会づくり、誰一人取り残さない社会づくり)を中心に、市民の皆さんが、満足するような施策の充実が必要であります。

全国的に議員の中には、唯我独尊の上から目線の議員がいる中、私自身は軸足が市民であることを忘れずに、人間力を磨きながら、夢と希望と努力することが報われ、暮らしやすい社会の実現と、安心して暮らすため安全なまちづくりの推進を図ってまいります。

最後に今後とも、さらなるご指導ご鞭撻ご叱咤を賜りますようお願いを申しあげ、貴台始めご家族皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



(第10代議長で議長席にて)

## ●●●寺越和洋の活動●●●

### 災害の被災地でのボランティア活動 (広島県呉市)

昨年の7月豪雨で被災した広島県呉市へ5月2日から4日まで、災害ボランティアの活動に行ってきました。

土石流で被害を受けた天応地区は、土砂等の除去撤去が終わりさら地状態となっていました、住んでいる方の声を聞きますと、返す言葉がありませんでした。倉橋地区では、みかん農家の土砂災害による現状の復帰がまだまだ進んでいない状況で、早急なる復旧を願いました。



倉橋地区にて、土砂の撤去

### 生命財産を守る砂防事業を視察 (京都府福知山市、京都市)

5月9日から10日に、京都府福知山市の砂防遺産第1号の雲原砂防を視察しました。当時、時間を掛け多額の費用に係る中の工事に、先人の熱意に敬服するばかりであります。翌10日には、寂光院の裏手の、現在砂防堰堤を建設する草生川を視察しました。

山地が多い日本では、生活するには危険が多くあることを改めて認識するとともに、住民の生命財産を守ることの必然性と重要性を感じました。



草生川の砂防堰堤建設予定地